

# 記者発表資料

国土交通省豊橋河川事務所

平成 25 年 1 月 9 日

## とよがわ かなめ 豊川における治水の要で見学会を開催

1. 概要
- 愛知県豊川市牛久保町から同市小坂井町に至る豊川放水路は、一級河川豊川の要となる治水施設で、昭和40年に完成し、その後の出水に対し、被害軽減効果を発揮してきました。
  - その豊川放水路の心臓部となるのが豊川放水路分流堰で、洪水時に可動式ゲート（扉）を開けて洪水を放水路に流します。
  - 東日本大震災等の地震発生を受け、点検した結果、豊川放水路分流堰の可動式ゲートを支える柱の耐震性能が不足していることが判明し、耐震補強を行います。
  - 耐震補強は、ポストヘッドバー工法という最新工法で実施しています。
  - 今回、豊橋市、豊川市の豊川の治水に関心を持たれている方々と豊橋河川事務所職員が、現場見学会を実施します。

2. 日時・場所 : 平成 25 年 1 月 18 日 (金) 10 時～12 時  
豊川放水路分流堰管理所 (豊川市行明町。下地図参照) にて



3. 添付資料 : 別紙資料

4. 解禁 : 指定なし

5. 撮影 : 自由

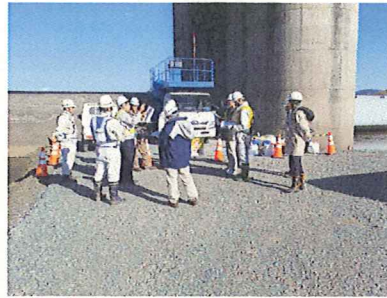
6. 配布先 : 豊橋市政記者会、新城市政記者クラブ

7. 問合せ先 : 国土交通省豊橋河川事務所  
副所長 倉島 佐貴夫 (見学会の関係)  
電話 0532-48-2111 090-2572-2121 (携帯)  
副所長 新高 庸介 (工事内容の関係)  
電話 0532-48-2111 090-8868-6147 (携帯)





ポストヘッドバーの挿入



作業車の状況

見学会の様子（H24年12月）

河-13

## 最新工法で巨大地震に備える

豊橋河川事務所 <sup>とよがわ</sup> 豊川放水路耐震工事

- 愛知県豊川市牛久保町から同市小坂井町に至る豊川放水路は、一級河川豊川の要となる治水施設で、昭和40年に完成し、その後の出水に対し、被害軽減効果を発揮してきました。
- その豊川放水路の心臓部となるのが豊川放水路分流堰で、可動式ゲート（扉）で洪水の調整を行います。
- 東日本大震災等の地震発生を受け、点検した結果、豊川放水路分流堰の可動式ゲートを支える柱の耐震性能が不足していることが判明し、耐震補強を行います。
- 耐震補強は、ポストヘッドバー工法で実施します。

平成25年1月中～下旬に、ポストヘッドバー工法のせん孔、挿入を施工している様子をご覧ください。

※1：大型特殊機械を用いるわけではありませんので、遠目には、大した工事に見えませんが、技術が満載された工法です。

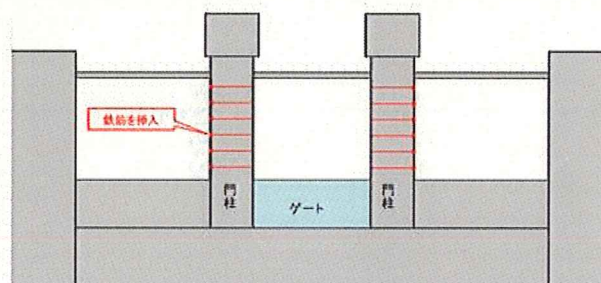
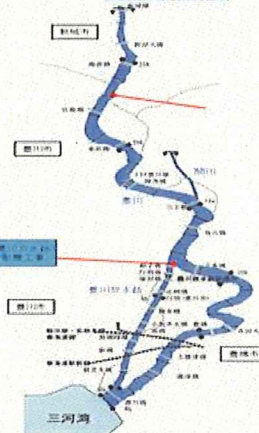


■耐震補強箇所  
（平成23年9月洪水時）



■耐震補強作業

位置図



■耐震補強イメージ（鉄筋で門柱を補強します）